

銘柄紹介

メタップス [6172・100 株] 8月28日 東証マザーズ市場上場

2015年8月12日(水)
更新: 10時9分
株式会社フィスコ

注目度高いベンチャーの大型案件

投資スタンスと初値メド

ブックビルディング参加	——
初値投資	——
初値メド	——

市場の注目度	★★★★
想定仮条件レンジ	3200円~3400円
予想PER	-倍(連)~-倍(連)
予想トレーディングレンジ 期間: 上場後1年を想定	2000円~5000円
予想PER	-倍(連)~-倍(連)

※★印は5段階評価

日程

仮条件提示	8月12日
ブックビルディング期間	8月13日~8月19日
公開価格決定	8月20日
申込期間	8月21日~8月26日
払込日	8月27日
上場日	8月28日

類似会社 3社

平均PER	38.9倍	→	-円
オプトHD<2389>	58.8倍(連)	→	-円
ウェルネット<2428>	22.6倍	→	-円
UNITED<2497>	35.2倍(連)	→	-円

(PERは8月10日終値の会社側予想ベース)

スマートフォン向けアプリにおける広告運用コンサルティングサービス及びEC事業者向けオンライン決済サービスの提供を手掛ける。アプリ収益化プラットフォーム「metaps」は、アプリの集客・分析・収益化をワンストップで支援するアプリ開発者向けのプラットフォームで、開発キット「Metaps SDK」が導入されているアプリは世界で累計約20億ダウンロード規模に上っている。

注目度の高い有望ベンチャー企業だが、公開規模が非常に大きく、需給懸念が強まりそうだ。足元でマザーズ市場の売買は低迷しており、大型案件には逆風となるだろう。今期の赤字継続予想も警戒感につながる可能性がある。

公開規模については100億円前後となる見込み。ベンチャーキャピタル保有比率も高く、需給懸念がある。

銘柄紹介

メタップス [6172・100 株] 8月28日 東証マザーズ市場上場

2015年8月12日(水)
更新: 10時9分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2011/8	435	—	▲ 166	—	▲ 65	—
2012/8	324	-25.5%	▲ 276	—	▲ 277	—
2013/8	1,036	219.5%	19	—	34	—
2014/8	986	-4.8%	▲ 409	—	▲ 409	—
2015/8 予	-	—	-	—	-	—

連結業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2013/8	1,301	—	▲ 2	—	12	—
2014/8	2,265	74.0%	▲ 510	—	▲ 510	—
2015/8 予	4,041	78.4%	▲ 362	—	▲ 370	—
2015/5 3Q	2,966	—	▲ 257	—	▲ 278	—
予想 EPS/配当		単独: -円 連結: -30.00 円(上場時発行済株式数で試算)/0.00 円				

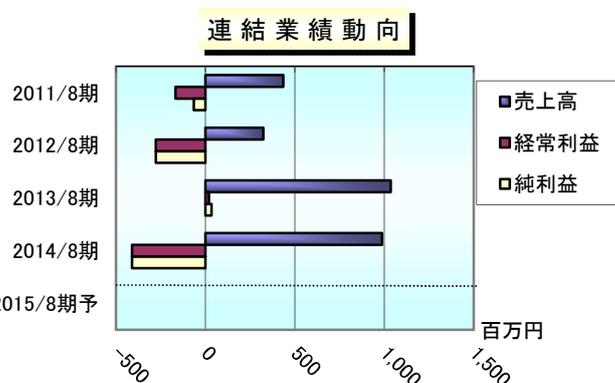
業績コメント

2015年8月期の業績は、売上高が前期比78.4%増の40.4億円、経常損失が3.6億円(前期は5.1億円の赤字)と増収・赤字幅縮小の見通しとなっている。

同社グループの属するインターネット領域の足元の状況は、スマートフォン市場が継続的に拡大を続けており、2015年3月末のスマートフォン保有率は60.6%と過半数を超えるまでに拡大している(内閣府「平成27年3月実施調査結果:消費動向調査」)。同様に、スマートフォンの普及により、アプリの利用も継続して拡大している。

このような状況の中、同社の主力のアプリ収益化事業は、特に国内売上が継続して好調であり、注力サービスであるアプリ収

益化プラットフォーム“metaps”などの既存サービスが堅調に推移した。一方で、決済プラットフォーム“SPIKE”をはじめとする新規サービス開発のための先行投資を積極的に実施したことにより、引き続き営業損失を計上している。



銘柄紹介

メタップス [6172・100 株] 8月28日 東証マザーズ市場上場

2015年8月12日(水)
更新: 10時9分
株式会社フィスコ

基本概要	
所在地	東京都新宿区西新宿六丁目
代表者名(生年月日)	代表取締役社長 佐藤航陽(昭和61年5月31日生)
設立	平成19年9月3日
資本金	28億7973万円(平成27年7月24日現在)
従業員数	新規上場会社63人 連結会社83人 (平成27年6月30日現在)
発行済株式数(上場時)	12,332,310株(予定)
公開株式数	公募1,152,000株 売出1,578,000株 (オーバーアロットメントによる売出273,000株)
想定公開規模	96.1億円~102.1億円(OA含む)
事業内容	スマートフォン向けアプリにおける広告運用コンサルティングサービス及びEC事業者向けオンライン決済サービスの提供

売上高構成比率 (2014/8期実績)		
品目	金額	比率
アプリ収益化事業	2,265 百万円	100.0 %
合計	2,265 百万円	100.0 %

幹事証券団 (予定)			
	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	SMBC日興証券(株)	未定	未定
幹事証券	野村證券(株)	未定	未定
幹事証券	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	未定	未定
幹事証券	大和証券(株)	未定	未定
幹事証券	みずほ証券(株)	未定	未定
幹事証券	(株)SBI証券	未定	未定
幹事証券	マネックス証券(株)	未定	未定
幹事証券	岡三証券(株)	未定	未定

銘柄紹介

メタップス [6172・100 株] 8月28日 東証マザーズ市場上場

2015年8月12日(水)

更新: 10時9分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

大株主上位 10 位			
順位	株主名	保有株数	保有シェア
1	佐藤 航陽	4,400,000 株	36.44 %
2	JAPAN VENTURES I LP.	2,029,377 株	16.81 %
3	インテック・アイティ2号投資事業有限責任組合	632,082 株	5.23 %
4	MSIVC2008V 投資事業有限責任組合	567,352 株	4.70 %
5	京大ベンチャーNVCC1号投資事業有限責任組合	560,000 株	4.64 %
6	株式会社セガゲームス	500,000 株	4.14 %
7	アジア学生起業家ファンド I-SHIN 投資事業有限責任組合	400,000 株	3.31 %
8	ネオステラ1号投資事業有限責任組合	300,000 株	2.48 %
8	FENOX VENTURE COMPANY VII, LP.	300,000 株	2.48 %
10	株式会社博報堂	250,000 株	2.07 %
10	トランスコスモス株式会社	250,000 株	2.07 %
合計		10,188,811 株	84.37 %

その他情報		
手取金の使途	(1)設備資金(システム構築費用)として、(2)アプリ収益化プラットフォーム“metaps”において発生する広告媒体(メディア)等への前払い費用などの運転資金として、(3)決済プラットフォーム“SPIKE”で提供するプリペイド型の電子マネー“SPIKE コイン”において発生する資金決済法に基づく供託金として、(4)その他、採用費・人件費、広告宣伝費・販促費およびオフィス移転にかかる費用として充当する予定。	
関係会社	Metaps Pte. Ltd. (連結子会社)アプリ収益化事業 盈利点信息科技(上海)有限公司 (連結子会社)アプリ収益化事業 Metaps Europe Limited (連結子会社)アプリ収益化事業 株式会社デジタルサイエンスラボ (連結子会社)アプリ収益化事業 Metaps Korea Inc. (連結子会社)アプリ収益化事業	
VC売却可能分(推定)	4社 549,999株(売出し・保有期間などの制限があるもの以外)	
直近有償第三者割当	年月日	2015年2月20日
	割当先	株式会社セガゲームス、FENOX VENTURE COMPANY VII, LP.、株式会社博報堂、トランス・コスモス株式会社、JAPAN VENTURES I LP.、gumi ventures2号投資事業有限責任組合、株式会社 gumi、新生企業投資株式会社、FENOX INFOCOM VENTURE COMPANY V, LP.、FENOX VENTURE COMPANY VIII, LP
	発行価格	2,000円

メタップス [6172・100 株] 8 月 28 日 東証マザーズ市場上場

2015 年 8 月 12 日 (水)
更新：10 時 9 分
株式会社フィスコ

銘柄紹介

同社グループは、同社及び連結子会社 5 社により構成されている。“metaps”及び“SPIKE”の 2 サービスを軸に、世界 8 拠点でアプリ収益化事業を展開している。

“metaps”は、AI（人工知能）が様々な角度からアプリの成功パターンを学習し、アプリ開発者が勘や経験に頼らず、データを活用して様々な意思決定を行うためのアプリ収益化プラットフォームを展開している。アプリ開発者はアプリストアの分析データとユーザーの行動履歴等から、精度の高い広告と媒体のマッチングを行うことが可能となるとともに、自社アプリのプロモーションを行う場合は広告主となり、自社アプリを媒体（メディア）として広告収益を得る媒体となることことができる。

また、新規サービスとして立ち上がったオンライン決済サービス“SPIKE”は、手数料無料の決済サービスとして EC 事業者を中心に導入が進んでおり、今後決済に限らずマーケティングや電子マネーをはじめとする様々な付加価値を EC 事業者を提供していく。

“metaps”は、アプリの集客・分析・収益化をワンストップで支援するアプリ開発者向けプラットフォームである。SDK と呼ばれる開発キットを導入するだけで、アプリ運営に必要な KPI 及びデータを一元管理出来る。また、AI（人工知能）を活用して適切なユーザに適切な広告を配信することで、アプリの収益を最大化する。具体的には、AI（人工知能）を活用した機械学習により、過去から現在に至るデータを解析し、自然言語処理による単語レベルでの類似性や、画像解析によるアイコンやクリエイティブの類似性、売上順位やダウンロード規模での競合可能性など、様々な角

度からアプリの現状を可視化する。Metaps SDK が導入されているアプリは 2015 年 3 月末現在、世界で累計約 20 億ダウンロード規模に上っている（過去実績：2013 年 2 月末⇒約 1 億ダウンロード、2014 年 1 月末⇒約 10 億ダウンロード）。

オンライン決済プラットフォーム“SPIKE”は、販売者が短時間で導入でき、専門知識が不要でリンクを設置するだけで利用できる EC 向けのオンライン決済サービスである。これまで、ネット上でのオンライン決済は複雑なシステムの導入が必要であり、時間もかかり、手数料も発生するため、粗利の低い事業者や単価の低い商品を扱う事業者にとっては導入のハードルが高いものだった。SPIKE は、誰でもシンプルな販売ページを作成でき、Web 上のあらゆるところでオンライン販売を可能にする。必要なのは販売ページのリンクをシェアすることだけである。これまで、インターネット上でクレジットカード決済を導入する場合、初期費用と 1 回の取引ごとに約 3%～5%+数十円程度の決済手数料が発生していた。しかし、SPIKE を利用することで、これら初期費用や決済手数料が無料になる（月間決済 100 万円まで）。

また、EC サイトに数行のコードを実装するだけで、カード決済が導入できる開発者向け導入システム（API）も提供しており、中～大規模 EC サイトにも対応している。現在、(1) 初期費用・月額・決済手数料が無料で、月間決済額 100 万円まで利用可能な「フリープラン」と、(2) 月額 3,000 円で決済手数料 2.55%+10 円～で利用できるビジネスプレミアムの 2 プランを用意して事業を展開している。

メタップス [6172・100 株] 8月28日 東証マザーズ市場上場

2015年8月12日(水)
更新: 10時9分
株式会社フィスコ



投資のポイント

「アプリ収益化プラットフォーム」などを手掛け、注目度の高い有望ベンチャー企業である。ただ、公開規模が非常に大きく、需給懸念が強まりそうだ。公開規模 100 億円超のマザーズ案件では、4/8 上場のサンバイオ<4592>が公開価格を 14.5% 下回る初値となったほか、4/28 上場の Gunosy<6047>も公開価格と同値の初値にとどまった。足元でマザーズ市場の売買は低迷しており、大型案件には逆風となるだろう。また、IPO 市場で改めて銘柄選別色が強まるなか、今期の赤字継続予想も警戒感につながる可能性がある。

る見込み。ベンチャーキャピタル保有比率も 50.3% と高く、需給懸念がある。なお、8/28 はラクト・ジャパン<3139>が同時上場する予定となっている。市場からの注目度は相対的にメタップスの方が高まるだろうが、同社も資金分散の影響を一定程度受けることになる。有望ベンチャー企業として需給不安を打ち消すだけの人気を集めるか、今後のブックビルディング等に注目したい。

同社は、主力のアプリ収益化プラットフォーム「metaps」のほか、オンライン決済プラットフォーム「SPIKE」を展開する。metaps は、アプリの集客・分析・収益化をワンストップで支援するアプリ開発者向けのプラットフォームで、開発キット「Metaps SDK」が導入されているアプリは世界で累計約 20 億ダウンロード規模（2015 年 3 月末時点）に上っている。世界 8 拠点を擁し、海外売上比率は 61%（2014 年 8 月期実績）となっている。

業績面について、2015 年 8 月期は売上高が前期比 78.4% 増の 40.4 億円、経常損失が 3.6 億円（前期は 5.1 億円の赤字）と増収・赤字幅縮小の見通しとなっている。

「metaps」など既存サービスが堅調に推移する一方、「SPIKE」をはじめとする新規サービス開発のために先行投資を積極的に実施している。なお、税務上の繰越欠損金がある。

公開規模については 100 億円前後とな

銘柄紹介

メタップス [6172・100 株] 8月28日 東証マザーズ市場上場

2015年8月12日(水)
更新: 10時9分
株式会社フィスコ

投資スタンスの見方

Aggressive (アグレッシブ)	積極的参加	投資収益率 100%以上が見込まれる案件
Active (アクティブ)	やや積極的参加	投資収益率 50%以上が見込まれる案件
Passive+ (パッシブ・プラス)	やや消極的参加	投資収益率 20~50%未満が見込まれる案件
Passive- (パッシブ・マイナス)	消極的参加	投資収益率 0~20%未満であり、マイナスの可能性のある案件
Negative (ネガティブ)	参加見送り	投資収益率がマイナスになる可能性が予想される案件

《 重要事項(ディスクレマー) 》

株式会社フィスコ(以下[フィスコ]という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものではありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少する事もあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大する事を保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ

■ 本資料のご留意事項

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料は、SBI証券が、株式会社フィスコが信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。

本資料の著作権、知的所有権等一切の権利は株式会社フィスコに帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

■ 手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の支店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書は当該銘柄の取扱証券会社のホームページ等で入手いただけます。

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第44号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会